

赤穂市健康増進計画（素案）に対するパブリックコメントの実施結果について

意見募集期間：平成25年1月8日（火）～平成25年2月7日（木）

意見の提出件数：3人（6件）

項目等	意見	市の考え方
<p>肥満の算定方法について</p>	<p>高校生に対してローレル指数が使用されていますが、BMI でいいのではないのでしょうか。（国民健康・栄養調査では15歳以上はBMIが使用されています）</p> <p>5歳児の肥満の割合が25.4%となっていますが、平成24年度幼児・学童における身体状況調査では赤穂市の5歳児の肥満は3.4%となっており大きく差があります。同時に、小学生のやせの割合が35.3%となっていますが、身体状況調査では赤穂市の小学生のやせは0.8%、アンケート調査をされた5年生のやせでいえば1.1%です。（ローレル指数と身体活動調査で使用している日比式では、肥満についての判定に違いがあることと、アンケートによる回答のため実測値ではないことが原因かと思われますが、国や県の結果と比較するのであれば、統一された方がいいのではないのでしょうか）</p>	<p>【一部意見を反映し修正】</p> <p>国や県の動向に合わせ、5歳児・小学生・中学生は日比式、高校生はBMIを使用します。</p> <p><参考></p> <p>修正後の数値</p> <p>5歳児：肥満4.9%、やせ0.8% 小学生：肥満9.6%、やせ3.5% 中学生：肥満8.0%、やせ3.0% 高校生：肥満3.5%、やせ17.1%</p>
<p>社会環境の整備について</p>	<p>個人の健康づくりを社会全体で支援する体制の整備・充実を図るため、「社会環境の整備」に関する内容を盛り込むことが望ましいと思います。</p>	<p>【一部意見を反映し修正】</p> <p>個人の健康は、家庭や職場、地域などの社会環境の影響を受けることから、市民一人ひとりが健康づくりに取り組みやすい社会環境の整備は大切であると考えています。</p> <p>第1章の5.それぞれの役割における「(5)行政」に「社会環境の整備に取り組む」ことを記載します。</p> <p>また、第3章の2.基本方針における「(5)主体的な実践行動に結びつく事業の推進」を「(5)健康づくりのための社会環境の整備」に変更、第6章の1.計画推進体制における「(3)健康推進ネットワークの構築」を「(3)ソーシャルキャピタルの活用と健康推進ネットワークの構築」に変更し、それぞれ社会環境の整備についての内容を盛り込み記載します。</p>

<p>地域団体 について</p>	<p>食育計画において、食生活改善団体として、いずみ会しか記載されていないのは、ふしぎです。赤穂にも地元の栄養士会（赤相栄養士会）があるのに、食育計画に栄養士会名をきちんと記載するべきだと思います。となりの相生市の計画には、きちんと記載されています。栄養の専門家団体なのですから、協力してもらい、目標達成を1つからもっと改善するべきではないでしょうか。</p>	<p>【一部意見を反映し修正】</p> <p>食育の推進においては、いずみ会のみならず、栄養士会やその他の様々な団体の取り組みにより、市全体の食育推進の機運を高めることが重要であると考えています。</p> <p>第5章の1. 食生活の確立における「地域の取り組み」に栄養士会の取り組みを記載します。</p>
<p>地産地消 について</p>	<p>地産地消推進について食物等を提供する立場にある飲食店や小売店に関する取り組みが触られていないので、触られてはいかがでしょうか。</p>	<p>【一部意見を反映し修正】</p> <p>第5章の3. 地産地消の推進・食文化の継承における「地域の取り組み」に飲食店や小売店の取り組みを記載します。</p>
<p>数値目標 について</p>	<p>前計画の評価項目の「8. 食塩を摂りすぎていると感じる人の割合の減少」が新計画の目標から削除されていますが、高血圧性疾患の罹患率も高いことから引き続き取り組むことが必要と思います。</p>	<p>【一部盛り込み済み】</p> <p>高血圧などの生活習慣病は正しい生活習慣によって予防できます。食事では、規則正しく、バランスよく食べることが大切です。今計画では、「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を毎日2回以上とっている人の割合の増加」を数値目標とし、塩の適正摂取も含めて取り組みます。</p>
<p>グラフの 表記方法 について</p>	<p>食生活についての問題点の内容のグラフの区分が少しわかりにくかったです。</p>	<p>【その他】</p> <p>中学生・高校生・成人において、どのような食生活に問題があると感じているのかを年代別で比較できるように、グラフを作成しています。</p>